



高知市立小・中学校におけるOJTの取組

～秦小学校の実践から～

－若手教員の授業力アップをめざして－

高知市立秦小学校では、「チーム未来」として若手教員の授業力アップに取り組んでいます。秦小学校「チーム未来」の取組をご紹介します。

「チーム未来」(若手教員授業力アップ)

秦小学校には、初任者教員1名、2年経験者教員2名、4年経験者教員3名(内栄養教諭1名)、採用6年次教員1名と採用10年未満の教員が7名います。「未来がいつばいの教員たち」ということで、「チーム未来」と名付け、主に互いの授業を見合うことを中心に学び合っています。

初任者の配置校指導教員である主幹教諭が、「チーム未来」のリーダーとなって、授業研究を計画したり、互いに授業を見に行けるように時間割を調整したりしています。

日々の授業及び児童や保護者への対応については、学年団を中心に助言や指導・支援を行います。採用年次の浅い教員だからこそその相談や悩みを放課後を中心に「隙間の時間」に話し合うこともあります。

高知市教育委員会の池知学力向上スーパーバイザーから1～2か月に一回程度、算数の授業について指導を受けました。「子どもへの目配りの大切さ・具体的な操作活動の必要性・子どもが黒板を使って説明をする大切さ・ノート指導等」授業を通して具体的なご指導をいただきました。

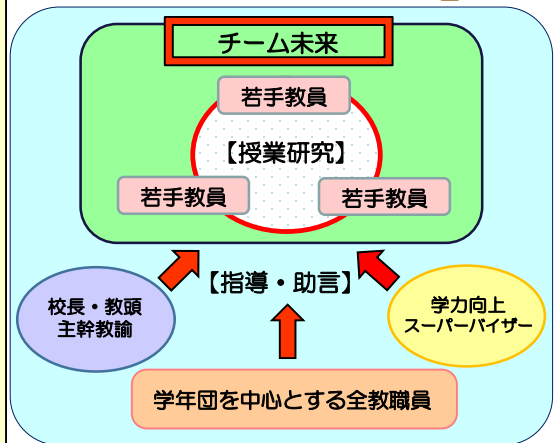
「チーム未来」は、これからも互いに切磋琢磨し、子どもたちの「わくわく・きらきら・輝く笑顔」のため、頑張っていってほしいと願っています。

(秦小学校長)



【公開授業】

経験年数が浅い先生同士が授業を見合える環境が大切。互いの力量アップにつながる契機となる。



若手教員のコメント

今年、複数回にわたり機会をいただいた授業研究を通して学んだことは、教材研究をしていく際、まず考えなければならないのは学級の子どもだということです。この説明で理解できるだろうか、この発問どどのような反応をするのか。学級の子どもの実態を踏まえた授業づくりの大切さを学びました。(初任者教員)



【授業の様子】



【教材について情報交換】

今年は、電子黒板等のICT機器を活用した授業を行いたいと思いました。そこで、電子黒板を活用されている先生に授業を2回見せていただき、電子黒板を授業のなかでどう活用しているのかを学ばせていただきました。その他、教育研究所で行われた情報教育研修会に誘い合っって「チーム未来」のメンバー全員で参加し、教材づくりのポイントなどを学びました。(2年経験者教員)

「チーム未来」の先生が授業研究(全校研究でない)を行う際には、できるだけ時間をつくり参観できるように心がけました。他の先生の授業を参観すると、自分が授業を行うときよりも児童の様子を客観的に見ることがができます。そのため、授業者の姿を通して、自分自身の指導、授業づくりを振り返ることができました。(4年経験者教員)

他の先生方の授業を参観し、教材の活用やICTの活用の仕方、子どもへの関わり方などさまざまな視点で学びを深めることができました。また、授業だけでなく、時間の合間に分からないことを尋ねたり、互いに気になる研修に誘い合ったりと気軽に相談できたことがよかったです。共に学んだことを、自分の授業研究にも生かすことができました。(2年経験者教員)

日頃の授業のなかで、電子黒板を活用した授業を取り入れようとしています。ICT活用という視点で「チーム未来」の先生にふだん通りの授業を見てもらい、今後の授業改善につなげられる課題を見いだすことができました。この取組で、いつも以上に「子どもの思考」の流れを意識して授業を組み立て考えることができ、とても学ぶことの多い機会となりました。(採用6年次教員)

※ OJT(On the Job Training)・・・日常の職務を通して、教職員として必要な知識や技能、態度等を組織的・計画的に高めていく取組。